Libiore

追風 Branding

想いを形にし、行動が変わり、文化が生まれる

The Brand That Becomes a Tailwind

想いの翻訳家　松波 賢

Matsunami Satoru

想いが伝わらないと
会社の“風”が止まってしまう

- 大事な価値が言葉にならない
- 社員間で温度差がある
- 判断に迷いが生じる
- 認識の違いで行動がそろわない
- 文化が育つ前に風が消える

会社には“追風”が必要です。

想いに風が吹けば、
行動が動き、文化が育ち、
組織は前へ進みはじめる。

会社が
飛躍するための
追風の3ステップ

1｜想いが“言葉”になる（Core Message）

会社に“風の起点”が生まれ、進む方向が定まる。
想いが言語化されると、
判断の迷いをはらう光となる。
→ 追風 Session（方向性を定める 90分）

2｜言葉が“形”になる（Brand Design）

会社に“志の風”が生まれ、ひとつにまとまる。
理念・世界観・行動指針が一本につながり、
揺るがない土台となる。
→ 追風 Design（会社がまとまる 3週間）

3｜形が“文化”になる（Culture System）

会社に“行動の風”が生まれ、前進が続く。
伝わる・稼ぐ・育つ仕組みが定着し、
日々の行動が、自然な習慣となる。
→ 追風 System（行動が変わる 3ヶ月）

追風が吹いた会社に起きる５つの変化

Before｜追風が吹く前

1. **大事な価値が言葉にならない**
   想いが“感覚のまま”止まり、
   社員に伝わらない。
2. **社員間で温度差がある**
   熱量・解釈がバラバラで、
   一体感が生まれない。
3. **判断に迷いが生じる**
   基準がないまま動き、
   現場で迷いが連鎖する。
4. **認識の違いで行動がそろわない**
   “言っていること”と“やっていること”にズレが生じる。
5. **文化が育つ前に風が消える**
   良い取り組みが続かず、
   定着する前に止まってしまう。

After｜追風が吹いた後

1. **価値が一文となり、全員に伝わる**
   想いが“言葉”になり、
   社員の心に刻まれる。
2. **意欲的なチームになる**
   理念・世界観の解像度がそろい、
   一方向へと進む。
3. **迷いが減り、決断が早くなる**
   基準が共有され、
   現場が自走し始める。
4. **認識が整い、行動が自然とそろう**
   言葉と行動のズレがなくなり、
   成果につながる動きに一致する。
5. **“行動の風”の文化が育つ**
   良い取り組みは習慣となり、
   会社に前進の風が吹き続ける。

追風とは、想いが“言葉”となり、行動が“文化”となり、
会社に前へ進む風をおくり続けるしくみです。

追風は、

価値を言葉に、
言葉を行動に、
行動を文化にする。

想いが、

会社の風をつくる

もっと良くなる。

会社も、社員も、未来も——
希望しかない。

だから私は、

その“希望”に追風をおくる人でありたい。

あなたの想いに、

風が吹き、世界に認識された瞬間、
きっと、こう思ってもらえる。

「出会えて良かった」と。

会社は
もっと良くなる。

❸ 追風 System

自然に行動が変わり、
自走の文化が育つ
¥360,000 ~

❷ 追風 Design

企業の土台ができ、
会社がひとつにまとまっていく
¥120,000

❶ 追風 Session

想いが言葉になり、
迷いが消えていく
¥18,000



—— 追風が吹き始めると、
会社は静かに動き出す。

想いがひとつの言葉になり、
社員が見る方向がそろい始める。

言葉がつくりだした世界観に導かれ、
社員がいっせいに歩を進める。

やがて“良い風”が社内をめぐり、
社員を育む文化が生まれる。

—— 追風は、
もっと良くなる希望のエール

「追風ブランディングは、
何をするのか？」

追風ブランディングは、
会社の“想い”をひとつの言葉にまとめ、
社員全員が迷わず動ける“追風の軸”をつくる
サービスです。

多くの会社では、
大切な価値が言葉にならず、
社員の温度差が生まれ、
判断に迷いが生じてしまいます。

追風ブランディングは、
その根本原因をほどき、
会社が自然に前へ進む“見えない風”をデザインします。

その結果、社員の行動がそろい、
会社は“自走する追風”が流れ続ける状態になります。

追風 Branding
3プラン

Libiore

方向性を定める

❶

追風 Session
迷いが消える
90分

会社の想いを
一文に翻訳して
迷いなく進める
“**判断の軸**”をつくる

［成果物］
- Core Message
（理念の核となる一文）

¥18,000

ブランドを形にする

❷

追風 Design
会社がまとまる
3週間

理念・世界観・ロゴ・
行動指針を統合して
会社の“土台”となる
ブランドをつくる

［成果物］
- 理念
- 行動指針
- ロゴ
- ブランドストーリー
- ガイドライン

¥120,000

文化に広げる

❸

追風 System
行動が変わる
3ヶ月

ブランドを
社内文化まで広げて
“追風の循環”をおこし
自走する**仕組み**をつくる

［成果物］
- 教育資料
（理念・技術・新人等）
- 文化の育成デザイン
（Thanksカード等）
- 行動が続く仕組み

¥360,000 ～

「**あなたの想いに、追風を。**」
帆をあげれば、実現したい場所へ動きだす

追風ブランディングが選ばれる理由

—— 未来が、軽やかに希望へ変わるから。

1｜想いが、追い風になる

大切にしてきた価値が一文で可視化され、
経営者も社員も、同じ方向を向けるようになる。

2｜迷いが消え、行動がそろう

理念・世界観・行動指針が一本につながることで、
判断の迷いがなくなり、行動が自然と揃っていく。

3｜文化が育ち、良い循環が生まれる

ブランドが浸透し“使われる言葉”になることで、
良い行動が定着し、行動は習慣という文化に変わる。

4｜経営者が“自分の軸”を取り戻す

事業が揺れても、判断の基準は揺らがない。
軸が明確になり、選択と決断が早くなる。

5｜最後に必ずこう言われる

「出会えて良かった」
追風ブランディングは、会社だけでなく、
経営者の未来までも、そっと希望へと変えていく。

追風ブランディングの進み方

—— あなたの想いが追い風に変わっていくプロセス

Step 1｜追風 Session（90分）

理念の“核”を一文に翻訳する時間。
経営者の中にある大切な価値を整理し、
社員が迷わなくなる「判断の軸」をつくります。
アウトプット：Core Message（理念の一文）

Step 2｜追風 Design（約3週間）

会社の“土台”となるブランドを形づくる期間。
理念・世界観・行動指針・ロゴを統合し、
社員と顧客が同じ方向を見るブランドをつくります。
アウトプット：理念／行動指針／ブランドストーリー／
ロゴ／ガイドライン

Step 3｜追風 System（約3ヶ月）

追風を“文化”へと育てる仕組みづくり。
ブランドを日常で使える形へ落とし込み、
行動がそろい、良い循環が生まれる組織へ導きます。
アウトプット：教育資料／行動が続く仕組み／
文化の育成デザイン（Thanksカード等）

Step 4｜実装 & 定着サポート

完成したブランドが習慣化するよう、
運用方法・社内共有・現場での使い方まで伴走。
追風が自然と流れ続ける状態へ整えます。

追風が吹くと
会社は、
こう変わる。

Before｜
追風が吹く前

1 ｜追風 Session 前
・価値が言葉にならない
・見てる未来がバラバラ

2 ｜追風 Design 前
・判断に迷いが生じる
・理念や行動指針が機能していない

3 ｜追風 System 前
・良い取組みが続かず、再現性がない
・成果は“頑張り”に依存してしまう

After｜
追風が吹いた後

1 ｜追風 Session 後
・価値が一文となり、全員に伝わる
→ 全員が同じ軸で動けるように なる

2 ｜追風 Design 後
・言動が一致し、現場が混乱しない
→ 社員に主体性が育ち、
前向きな組織になる

3 ｜追風 System 後
・良習慣が定着し、強い会社になる
→ 自走する仕組みから、
持続的な成果が生まれる

会社を
前に進める
3つの追風モデル

1｜言葉の追風（Core Message）

会社の価値・想いを一文に翻訳し、
“判断の軸”をつくる。

2｜信念の追風（Brand Design）

理念・世界観・行動指針・ロゴを統合し、
“迷わないブランド”をつくる。

3｜文化の追風（Culture System）

ブランドを文化として根づかせ、
“自走する組織”をつくる。

3つの追風がそろうと、
会社の信念・行動・文化が一つの方向へ動きだす。

3つの追風が生み出す
会社の前進力

1｜言葉の追風

– 判断の軸が生まれる
　迷いが消える。

2｜信念の追風

– 認識がそろう
　理念と行動がひとつになる。

3｜文化の追風

– 行動が変わる
　組織が前へ進み続ける。

3つの追風がそろうと、
会社は“ひとつの流れ”で動き始める。

追風が起こす“会社の未来の変化”

—— 想いが伝わるだけ、会社はここまで変わる。

1｜判断が早くなる（言葉の追風の効果）

Before: 判断が揺れ、いつも同じ場所にとどまってしまう

After: 意思決定が速くなり、自分も会社も前へ進み始める

2｜社員の行動がそろう（信念の追風の効果）

Before: 理解の違いから温度差が生まれ、空気が悪い

After: 価値観が統合され、意欲的なチームができあがる

3｜ 人が辞めなくなる（文化の追風の効果）

Before: 育てても辞めてしまい、投資が回収できない

After: 行動習慣が変わり、文化が根づき、仲間が辞めない

4｜顧客との関係が変わる

Before: 顧客が求めているものが分からず、距離が遠い

After: 顧客と価値観の共有がされ、ファンが生まれる

5｜経営者の精神的負担が減る（最大の価値）

Before: すべてを自分で決め、疲弊していく

After: 手を放しても、理念と文化が会社は自動に前進する

—— 経営者も、社員も、顧客も前へ進み始める。

なぜ、追風ブランディングなのか？

1｜想いの翻訳力

言葉にならない価値を一文にする力
—— 判断軸が生まれ、迷いが消える

2｜風をつくる編集力

理念から行動・文化まで“流れ”で設計する力
—— 社員が自然に動き出す仕組みができる

3｜希望の追風デザイン

言語と視覚を一つの世界観として統合する力
—— 想いが美しく伝わり、会社の空気が変わる

だから、追風ブランディングは
会社に“未来を動かす風”を起こせる。

追風ブランディングは
あなたの会社を導く『3つの追風』で進みます。

①｜追風 Session（90分）

想いが一文になり、方向性が定まる

・価値の核心（Core Message）が言語化される

→ 社員の迷いが消え、判断軸が生まれる

②｜追風 Design（3週間）

会社が“ひとつのブランド”としてまとまる

・理念／行動指針／ブランドストーリー／
ロゴ／ガイドラインまで統合設計

→ 社内外の認識がそろい、伝わる土台が整う

③｜追風 System（3ヶ月〜）

行動が変わり、文化として根づく

・教育デザイン（理念・技術・育成）／評価制度／
行動が続く仕組み／文化の育成デザイン

→ 追風の循環が生まれ、人が育ち、会社が変わる

この3つの追風が連続すると、
会社は“自然と良くなる流れ”に乗りはじめます。

追風ブランディングの3ステップは

順番に進むことで、“会社の流れ”が整っていきます。

1つ目で「方向性」を定め、
2つ目で「ブランドの土台」をつくり、
3つ目で「行動と文化」が自然に変わりはじめる。

だからあなたの会社が
“無理なく、良くなる流れ”に乗るのです。

次のスライドから、3つの追風の詳細をご案内します。

①｜追風 Session（方向性が定まる90分）

企業の“核”を一文に翻訳し、
判断軸と迷わない会社へ。

②｜追風 Design（会社がまとまる3週間）

理念・世界観・行動指針・ロゴを統合し、
企業の“土台”を整える。

③｜追風 System（行動が変わる3ヶ月）

ブランドを文化まで広げ、
社員の行動が変わる“追風の循環”をつくる。

この3つを組み合わせたとき、
会社は 、風を受けた船のように、自然と前へ進みはじめます。

追風 Session

—— 会社の“軸”が一文で定まる90分

【Before】

・経営者の想いはあるのに伝わらない
・伝わり方にムラがあり温度差がある
・判断の軸が言語化されておらずバラバラになる

【After】

Core Message（核心の一文）が生まれる
→ ビジョンの方向に揃う
→ 社員が迷わなくなる
→ 戦略の判断が早くなる

【プロセス】

・大切な想いを深掘り
・本質の抽出
・一文に集約と伝わる形へ翻訳

たった一文で、会社に追風が吹きはじめる。

追風 Session（90分）

―― 会社の“核”を言葉にするプロセス

① 想いの深掘り

- 経営者の歴史・価値観
- 大切にしていること
- 違和感の源泉

② 本質の抽出

- 共通軸
- 価値観の核
- 原動力の言葉

③ 核心の一文へ

- 社員が迷わなくなる指針
- 戦略判断が整う一文

Core Message（核心の一文）が生まれる

すべては、この一文から動きはじめる。

追風 Design

―― 会社の“在り方”がまとまる3週間

【Before】

・行動にムダがあり、思った通りの成果が出ない
・採用／育成／顧客対応にムラがあり、現場が混乱する
・社内外の認識のズレから、互いの満足度が低い

【After】

Brand Design（ブレない行動）が生まれる
→ 行動が揃い、強い組織になる
→ 意欲的で揺るがないチームになる
→ 魅力が自然と伝わり、ファンが増える

【プロセス】

・理念／世界観／行動指針を一本化
・ロゴ／ビジュアルデザイン
・ブランドストーリー設計
・ブランドガイドライン化

ブランドは、会社に追風をもたらし、
未来を軽やかにする力です。

追風 Design（3週間）

——会社の“核”を行動に変えるプロセス

① 理念／世界観／行動指針（一本化）

・会社の“変わらない価値”を掘り出す
・社内外の共通言語／判断基準をつくる

② ロゴ／ビジュアルデザイン（象徴化）

・社内外に“伝わる形”をつくる

③ ブランドストーリー設計（物語化）

・会社の魅力ある未来像を“語れる形”をつくる

④ブランドガイドライン化（体系化）

・“誰が見てもわかる一冊”をつくる

Brand Design（ブレない行動）が生まれる

行動が変わると、会社の風が変わる。

追風 System

—— 会社の“行動”が自然と変わる3ヶ月

【Before】

・良い取組みが続かず、再現性がない

・成果は“頑張り”に依存してしまう

・育てても辞めてしまい、投資が回収できない

【After】

Culture System（自走の文化）が生まれる

→ 良習慣の仕組みがある

→ 持続的な成果が得られる

→ 仲間が辞めない風土になる

3【プロセス】

・行動基準の”日常化”設計

・教育体系の構築

・文化の育成デザイン

文化が育てば、追風は止まらない

いつまでも、会社を自走させる

追風 System （3ヶ月）

—— 会社の“核”を自走化させるプロセス

① 行動基準の“日常化”設計

- 理念と行動指針を日々の判断へ翻訳
- 迷わないための行動ルール
- 行動が持続する仕掛けづくり

② 教育体系の構築

- 理念・技術・行動の教材化
- 誰でも同じ基準で育つ仕組み
- 新人〜既存まで再現性のある育成／評価

③ 文化の育成デザイン

- Thanksカードなどの文化施策
- 良い行動が続くポジティブループ
- 定着率を上げる“仲間づくり”の仕組み

Culture System（自走の文化）が生まれる

文化が、会社の当たり前をつくる。

追風 System

—— 行動が変わる3ヶ月の全体図

① 行動基準の《日常化》

- 毎日の判断に迷いがなくなる
- 行動の「質」がそろい始める
- 行動の軸が社内に浸透する

② 教育体系の《統一化》

- 理念・行動指針が一貫して伝わる
- 新人でも迷わず動ける環境が整う
- 教育係／評価者によってブレがなくなる

③ 文化の《習慣化》

- 社員同士のコミュニケーションが自然と高まる
- 小さな成功が連鎖し、好循環が生まれる
- “続く行動”が会社の空気になる

行動、教育、文化、そして、また行動へ
循環の追風が、会社に流れる。

追風 System
—— 3ヶ月でおきる“変化の物語”

1ヶ月目｜行動が整いはじめる朝

朝礼で、少しずつ社員の言葉が変わってきた。
判断に迷っていた表情も、どこか凛としている。
「その判断、うちの理念に沿ってるね」
そんな会話に、**“ああ、やっと会社が動き始めた”**
———そんな実感が胸に広がった朝だった。

2ヶ月目｜教育が一本につながる午後

あの新人が、自信をもって動いている。
「誰が教えても同じになるって、こういうことか」
理念・行動指針・教育が一本につながることで、
“会社って、こんなに変われるんだ”と静かに驚いた。

3ヶ月目｜文化が芽を出す夕方

「…さんのおかげです、ありがとうございました」
最近、たくさんの感謝の言葉が社内にあふれ、
小さな成功も喜び合う姿をよく見かけるようになった。
この光景を3ヶ月前の私にも見せてあげたい。
———いまの決断は、**“会社の未来を軽やかにする”**

導入事例（追風 System ）
Case： 50名規模の サービス会社

Before｜
会社に立ちこめていた “静かな違和感”

・理念はあるのに、
誰も使っていなかった

・現場の混乱に振り回され、
時間が奪われていた

・「このままでいいのか？」
という不安が、
心のどこかに残っていた

After｜
会社の空気だけじゃなく “私の心”も軽くなった

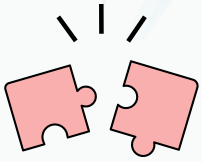
・Core Message が指針となり、
行動に統一感がでた

・仕組み化で業務のムダが減り、
時間に余裕がうまれた

・一番良かったのは精神的負担が減り、家族に「最近いい顔してるね」と言われたことです

【追風ブランディングを導入して気づけたこと】
理念は、ただ飾る言葉ではなく
“未来を軽くする技術”でした

なぜ、追風ブランディングは、“自然に”会社が変わっていくのか？



1 | 一緒につくる

— 押しつけなし。本来ある価値を引き出す。
だから、どんな会社も自然に動き始める。



2 | 小さく始まり、大きく育つ

— Core Message から変化が連鎖。
だから、重たい改革をしなくても前に進める。



3 | 完全カスタム設計

— 会社ごとに最適化。定着率が高い。
だから、形だけで終わらず文化として根づく。



4 | 導入後の伴走

— フォローありで、安心して進められる。
だから、変化が途中で止まらない。

変えるのではなく、
もともとある“価値を育てる”のが追風です

もし、あなたの会社に
「追風」が吹いたら

1｜社員の変化

判断が必要な場面で、
「それは、うちの会社らしいか？」
その一言で、迷いが消える。

2｜顧客の変化

価値観の共有がされて、ファンが生まれ、
顧客とのコミュニケーションが柔らかくなる。

3｜経営者自身の変化

すべてを背負わなくていい。
仕組みが、あなたをサポートし続ける。

変わるのは、
会社の「やり方」ではなく、
会社の「在り方」。

では、どうやって、
この変化を実現するのか？

①｜追風 Session（90分）

想いが一文で定める

→ Core Message（核心の一文）を作り
価値を言語化する

②｜追風 Design（3週間）

定めた一文を、行動できる形にする

→ Brand（土台）を統合設計し、社員が
「どう動けばいいか」が自然に分かる状態へ

③｜追風 System（3ヶ月〜）

行動できる形を、文化として根づかせる

→ 教育・評価をSystem（仕組み化）に落とし込み
追風が「一度きり」で終わらない文化をつくる

想いを語るだけで終わらせない。
行動を変え、文化として続くところまで。

それが、追風ブランディングです。

この追風を、誰とつくるのか

私は、
コンサルタントでも
デザイナーでもありません。

あなたの頭の中にある
言葉にならない想いを、
社員が動ける言葉にする翻訳家です。

きれいな理念をつくることより、
行動が変わることを大切にしています。

だから、
Sessionで終わらせず、
Designで形にし、
Systemで文化にします。

一度きりの追風ではなく、
何度でも吹き続ける追風を。

あなたの想いと、一緒につくります。

この追風を
あなたは、いつ吹かせますか

想いは、すでにある。
あとは、言葉にするかどうか。

言葉になれば、
判断が揃い、
行動が揃い、
文化が育つ流れが生まれます。

追風ブランディングは、
変えるためのものではありません。

すでにある“価値”を、
風として解き放つだけです。

すべては、
この一文から動きはじめる。

追風は、
ここから始まる

最初に整えるのは、
会社の“核”となる
一文。

―― 戦略も、
―― 制度も、
―― 文化も、

そのあとでいい。

追風 Session

会社の“軸”が
一文で定まる90分

追風 Session（90分）

――――すべては、この一文から動きはじめる。

経営には、
戦略も、制度も、文化も必要です。

けれど、
それらが本当に機能するかは、
「**判断の軸となる一文があるかどうか**」 で決まります。

追風 Session は、
会社の想い・価値観・違和感を丁寧にひもとき、
経営者自身の言葉で語れる
“核心の一文”を生み出す90分です。

この一文が定まると、
社員は迷わなくなり、
行動がそろい、
戦略の判断が驚くほど速くなります。

たった一文で、
会社に、追風が吹きはじめる。

Sessionを受ける人は、どんな人か

追風 Session は、
すべての経営者のためのものではありません。

このSessionが、
強く意味を持つのは、こんな人です。

● **言葉にできず、想いが伝わらない人**
—— 大切にしたい価値も、目指したい未来もあるのに、、

● **社員のために、「迷わない軸」をつくりたい人**
—— 「伝えたはずなのに」、それを、もう人のせいにしたくない、、

● **戦略や制度の前に、まず“言葉”を整えたい人**
—— 「そもそも、何のための会社なのか」を自分で確かめたい、、

● **ありきたりな正解よりも、納得解を選びたい人**
—— テンプレではなく、自分たちにしかない “判断の基準”を、、

逆に、次のような方には、まだ最適なタイミングではないかもしれません。
・答えをすぐに「もらいたい」人
・誰かの正解をそのまま使いたい人
・言葉と向き合う時間を省きたい人

だからこそ、
本気で向き合いたい人にだけ、お届けしています。

Session 当日の流れ

——— 事前準備は必要ありません

当日の流れは、とてもシンプルです。

1｜いま、感じていることを話す

なぜモヤモヤしているのか、何を大切にしたいのか
まとまっていなくて大丈夫です。

2｜想いを一緒にほどいていく

迷いは、間違いではなく、まだ言葉になっていないサイン。
だから、整っていなくて大丈夫です。

3｜核心の一文が生まれる

社員が迷わない、会社がブレない
判断の軸となる **Core Message**が残ります。

この90分間は、
何かを教える時間ではありません。

あなたの中に、
すでにあるものを言葉として受け取る時間です。

Sessionが終わったあと
「何を大切にすればいいか」がはっきりしている
—— そんな状態で、日常に戻っていきます。

ここまで聞いて、
あなたの会社を思い浮かべたとき

あなたは、
どこから「追風」を起こしたいですか？

① 言葉から
— 想いを一文にする【追風 Session】

② 形から
— 会社を一つに束ねる【追風 Design】

③ 行動から
— 文化として根づかせる【追風 System】

どれを選んでも、大丈夫
あなたが「ここだ」と感じた場所から、
静かに、吹きはじめます。

はじめの一歩は、 大きな決断でなくていい。

追風ブランディングは、
いきなり「変える」ことはしません。

はじまりは、
あなたの想いを
改めて、言葉にしてみることからです。

追風 Session

想いが “迷わない一文” に翻訳する90分

・無理な提案はしません
・続きをやるかは、終わってから決めてください
・Sessionだけで、風が吹きはじめることもあります

価格
90分 / ¥18,000（税込）
※ オンライン対応
※ 1社ずつ、丁寧に行います

追風は、
準備が整った会社に吹くものではありません。

「今、向き合ってみよう」
そう思えた瞬間から、もう吹きはじめています。



追風
Branding

想いの翻訳家　松波 賢

［Mail］libiore2025@gmail.com

「必要だと感じたときに、思い出してもらえたら嬉しいです」